

授業科目 基礎看護学実習 I	区分・教育内容 専門分野 I 臨地実習		
授業担当者 大塚 紀子 (専任教員)	開講時期 後期	単位数 1 単位	時間数 45 時間
授業の目的 患者への接し方を学び、基本的ニーズに応じた援助が実施できる。 授業の目標 1. 患者に応じた接し方ができる。 2. 患者の基本的ニーズを把握できる。 3. 患者の基本的ニーズに応じた援助ができる。 4. 実施した援助を評価できる。 5. 看護についてわかったことを述べるができる。			
授業概要 本実習では、学生 1 ないし 2 名で患者 1 名を受持ち、関係作りの基本である会話の導入及び発展のさせ方や、対象に応じた接し方を学ぶ。患者とのコミュニケーションや観察で得た情報から、基本的ニーズが充足されているかを考え、看護援助を行う。安全、安楽、患者の反応から、看護援助の妥当性を評価する。 見学や実践などの体験を通し、対象を理解するとともに、患者に行われている看護について考える機会とする。 授業計画 (進め方) 実習施設は中通総合病院とする(実習日数：合計 8 日間 45 時間)。 【1 日目】 1. 前期に実習病院内と患者の療養環境を見学する。学生 2 人で患者 1 名とコミュニケーションを図る(I-1：4.5 時間)。 【2～3 日目】 1. 実習にむけてガイダンスを行う(3 時間)。 2. 学内において、基礎的知識の確認、看護技術の練習と確認をする他、実習場所別にガイダンスを行う(4.5 時間)。 【4～7 日目】 実習時間は原則として 8：30～17：00 である。 1. 看護活動の見学。患者との関わりからニーズを把握し実践後その評価をおこなう。 2. カンファレンスで 1 日のまとめを行い、自己の考えを深める。 3. 1 日の実習内容と学びを、記録用紙に整理する。 【8 日目】 1. 実習終了カンファレンスを実施し看護について考え、学びを共有する(3 時間)。 2. 所定の記録用紙を提出する。			
テキスト 系統看護学講座 専門 I 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 II 医学書院 城ヶ端初子監修 実践にいかす看護理論 19 医学芸術社			
指定図書・参考書			
評価の方法 評価表をもとに、臨床指導者及び教員の評価によって行う。			